



2014.8.23（土）

# 夏期特別学習会報告

南筑後外国語（英語）教育研究サークル  
 会長 柳川市立三橋中学校 校長 境 宏文

平成 30 年の教科化が発表された今、外国語活動及び中学校の指導について、参加者（37名）間で改めて考えました。管内の外国語活動の実践家 4 名に活動例を演習形式で紹介していただきましたが、講師の大城先生も絶賛！参加した中学校の先生方も、小学校の取組からもっと中学校の授業改善をしなければ！と感じながら会場を後にされました。大城賢先生のお言葉にもあったように、「Teachers should be magicians !!」子ども達の意欲を高め、持っている力をぐっと引き出す授業づくりを目指しましょう。  
 文責 古川

## ワークショップ 「今すぐやってみよう！こんな外国語活動」

### ① 「中学校につなぐ Hi, friends! の一工夫」

柳川市立ニツ河小学校 古賀英興先生

模擬授業形式でいくつかのアクティビティーを紹介  
 子ども達に思考させる活動をうまく仕組み、ゲーム感覚で相手に伝える喜びを感じさせる。

Hi, friends! で活動した取組を中学校の英語の授業でもつないでいくことは大切です。



### ② 「学級担任として取り組む外国語活動」

筑後市立水洗小学校 中村玲花先生

子ども達の実態を誰よりも知っている、いろんな教科の学習方法を知っている学級担任だからこそ！  
 担任が一番身近なコミュニケーションモデル！  
 学級の仲間とともに協同的に学び合う活動を紹介

- 筑後市ゆるキャラPR大作戦
- 地域素材を入れたゆるキャラ作りを通してグループで協力してなりきり自己紹介する
- A L T にありがとうメッセージを送ろう！
- 国に帰る A L T にお礼のメッセージを伝える活動を通して、友だちと繰り返しアドバイス



### ③ 「外国語活動での文字指導」

南筑後教育事務 指導主事 姉川左希子

外国語活動の目的に文字指導はないが、子ども達は知りたいと思っているし、コミュニケーションを図る上で必要ならば活用することも必要

系統的な文字指導を取り入れたカリキュラム開発

○英語・日本語カードを作ろう！

○道案内をしよう！

A L T に久留米の便利マップを作って渡したい。

○私の一日を紹介しよう！

留学生に手紙の返事を渡したい

○オリジナル劇を作ろう！

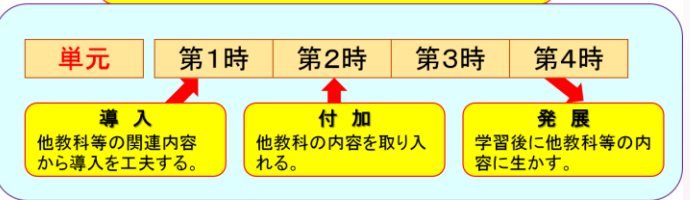
Hi, friends! の桃太郎劇をアレンジ



### ④ 「他教科・他領域とつなぐ外国語活動」

大牟田市立銀水小学校 宮田久美子先生

## 他教科・領域との関連



外国語活動の中に教科・領域等で学んだ内容や気づき、課題の設定の仕方等を取り入れる

○3年生「あおむし物語を作ろう！」

理科「こん虫をそだてよう」図工「大好き自分の線と色」

○5年生「クリスマス飾りを作ってプレゼントしよう！」

総合的な学習の時間「ふれあいをひろげよう」

家庭科「わくわくミシン」

プレゼントするものを決める

ために、外国語活動で自分の

作品（デザイン）をインタビュー

What do you like?



小学生になった気分  
で、演習での活動に参加



## 講演 大城賢先生（琉球大学教授）

「英語教育における小中連携～外国語活動の次の展開を視野に入れて～」



### Teachers should be magicians!

ペットボトルの透明色の水が、青色に変化するといったマジックから始まった先生の講義。しかし、ここにもコミュニケーション力を身に付けさせるための場面設定があった。「おやっ?」「えっ?」「どうして?」と思うことで、誰もが相手に尋ねたくなる。そして、相手を納得させるために、自分の考えや知っていることを伝えようとする。まさに、そのようなコミュニケーション能力を育む場面設定を仕組んでいくことは、小学校外国語活動においても、中学校の英語の授業においても必要不可欠なのである。「**場面**でしか**文**は**意味**を持たない。」「**場面**があるから**意味**がある。」

グローバル社会の英語は小学校外国語活動の英語に学ぶべきなのかも。英語を母語としない人々を含む多様な英語が飛び交う状況（多様化）、コミュニケーション「伝わる」「伝える」が大切。臆することなく相手に伝えようとする人を育てることが全ての子どもに必要。ところが、子どもが海外に目を向けていない現状があるので、その扉を開いてあげることも必要である。

小学校の外国語活動は2003年に総合的な学習の一環として（国際理解教育）導入され、2011年より「外国語（英語）体験活動」が5、6年生を対象に必修化された。それらの「模索の時代」「拡散の時代」から、今後は「大きく変わる時代」がやってくる。今こそ、小学校、中学校の英語教師が「連携」ではなく、「協同」して外国語教育に携わっていなければならない。これからは、「**英コ（英語コミュニケーション）教師**」として・・・



## 夏期特別学習会アンケート（感想）より

コミュニケーション力の大切さを実感しました。ワークショップでは、子どもが生き生きと活動している姿、教材の工夫など、とても参考になりました。大城先生の講演では、グローバル社会へ進んでいく子ども達へ、教師がすべきことを考えなければならないと感じました。他の研修会で、将来、半数以上の子どもが、現在にない職種で働くことになることになりました。これからの実践で、コミュニケーション力を子ども達につけられるように頑張りたいです。  
(小学校教師)



改めてコミュニケーション能力を身に付けていくことの大切さを学ばさせていただきました。目の前の子ども達のために、楽しく活動しながら、コミュニケーション能力を伸ばすことができる授業を取り組みたいと思います。小学校で行ったことがスムーズに中学校に移行できるよう、少なくとも中学校校区での小中合同研修が必要だと思います。  
(小学校教師)

4名の先生方のすばらしい実践は興味深かった。子ども達の学校生活と英語教育がつながっていると感じた。何より、「何のために」「何をを目指すのか」をまず、教師がもつことが大切なのだと思います。

大城先生の話はとても勉強になりました。英語だけでなく、コミュニケーションの大切さ、教師の役割について、久しぶりに考え直す良い機会であった。もっとお話をお聞きしたかったので、またの機会に参加したい。  
(小学校教師)

A L T任せでここ数年やってきたツケが・・・これからの外国語活動教育について知ることができ、驚きとともに大変勉強になりました。この感動と刺激を2学期の実践に生かしていきたいと思いました。  
(小学校教師)

久しぶりの参加となりましたが、やはり、ここにくるとガツンと大きな刺激を受けることができると改めて実感しました。

今日のワークショップを受け、中学校側はもっと小学校でどんな外国語活動を行っているか、そして、子ども達がどんなことを、どんな風に学んで（体験して）きたか知ってから授業すべきだと痛感しました。そして、目的意識を持たせること、「伝えたい」という気持ちを持った子ども達を育てること、その為の導入の工夫・・・等々、これから先やりたいことでいっぱいになりました。明後日、子ども達に会うのが一層楽しみになりました。  
(中学校教師)

英語教師はアジアを中心としたグローバル化を意識し、伝えることを重視し授業をより進化させるべきだと確信できました。昨日、夜10時に、NHKが放送した「アジアのグローバル化」の番組を見ていたので、より理解が深まりました。  
(中学校教師)

小学校の先生方の実践を見せていただき、とても勉強になりました。長くなる滑走路（英語学習の準備期間）を生かすために、小学校と中学校がしっかり連携することが大事だと改めて思いました。恥ずかしながら、小学校の先生方の実践を、中学校でも使える!と思いながら聞いていました。さらに、発展していけるような授業作りをしていかなければいけないと思います。  
(中学校教師)

## お知らせ

第62回 九州地区英語教育研究大会(熊本大会)

2014年10月24日(金)～2014年10月25日(土)

分科会にて、サークルでの活動実践報告を小田先生(広川中)、黒木先生(延命中)に発表していただきます。司会は今村先生(三橋中)です。

CAN-DO リストについて、表現力の育成について報告していただきます。